

大学番号 私立188

注3

設置年度 平成 31年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

藤田医科大学 保健衛生学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局学務部学務課

職名・氏名 カチョウ 課長 古賀 尚樹

電話番号 0562-93-9420

(夜間) 0562-93-9420

e-mail hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更）)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 □□研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 □□研究科 □□専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健衛生学部

<リハビリテーション学科 理学療法専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人藤田学園

(2) 大 学 名

藤田医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	(オノ ユウイチロウ) 小野 雄一郎 (平成23年4月)	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成30年10月)	任期満了に伴う変更 平成30年10月2日（元）
学 長	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成26年4月)	(サイトウ エイイチ) 才藤 栄一 (平成31年4月)	辞任に伴う変更 平成31年4月1日（元）
学 部 長	—	(カナダ ヨシキヨ) 金田 嘉清 (平成31年4月)	医療科学部長より、 保健衛生学部長へ変更 平成31年4月1日（元）
学 科 長		(サクライ ヒロアキ) 櫻井 宏明 (平成31年4月)	医療科学部リハビリテーション学科 長より、保健衛生学部リハビリテー ション学科長へ変更 平成31年4月1日（元）

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)
 - ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 - ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健衛生学部 リハビリテーション学科 学士（理学療法学）	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）	4年	70人	年次人	280人		

- (注)
 - ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人	人 人			
	70 (-) [0]	70 (-) [0]	70 (-) [0]	70 (-) [0]	70 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
志願者数	544 (-) [0]	() []	527 (5) [4]	() []	573 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	542 (-) [0]	() []	527 (5) [4]	() []	569 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.00倍	-倍	
合格者数	155 (-) [0]	() []	183 (5) [4]	() []	224 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	70 (-) [0]	() []	70 (5) [3]	() []	70 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.00	1.00	1.00	1.00										

- (注)
 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ () 内には、編入学の状況について外數で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内數で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	70 [-] (-)		72 [3] (2)		75 [-] (5)								
2年次			72 [5] (-)		62 [3] (2)								2年次 R2年度春季入学 編入学生5人
3年次					70 [5] (-)								
4年次									[] (-)				
計	70 [-] (-)		144 [8] (2)		207 [8] (7)				[] (-)	[] (-)			

・令和3年5月1日 公表

- (注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

対象年度	区分 在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	70 人	1 人	令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和2年度	144 人	7 人	令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)
			令和2年度	5 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)、就職(1人)、学力不足(1人)
令和3年度	207 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		8 人		7 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{70} = 1.42\%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{144} = 4.86\%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{207} = 0\%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻＞

(1) —① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎分野	生物学	1前	1			1				
	統計学	1前	1			1				
	物理学	1前	1							1
	化学	1前		1		1				1
	数学	1前		1						1
	心理学	1前	1							1
	生命倫理学	1後		1						1
	文化人類学	1後		1						1
	教育学	1前		1						1
	スポーツ・健康科学	3通	2							1
	英語1	1通	2							1
	英語2	1通	2							2
	中国語	1後		1						1
	ポルトガル語	1後		1		1				1
	医学英語	2前	1							1
小計(15科目)		-	11	7	0	1	2	2	0	11
専門基礎分野	解剖学1	1通	2			1	1	1		
	解剖学2	1通	2			1	1	1		
	解剖学実習	2前	1			1	1	1	1	
	機能解剖学	1通	2			1				
	機能解剖学演習	1後	1			1				
	生理学1	1前	1			1				
	生理学2	1後	1			1				
	生理学実習	1後	1			1	1		2	
	運動学1	1後	1			1				
	運動学2	2前	1			1				
	運動学3	2後	1							1
	運動学実習	2後	1			1	1	4	1	5
	人間発達学	1後	1							1
	病理学	1後	1							1
小計(14科目)		-	17	0	0	3	1	3	1	4
専門疾患分野	臨床心理学	1後	1							1
	一般臨床医学	2前	1							3
	内科学	2前	1							4
	整形外科学1	2前	1							4
	整形外科学2	2後	1							2
	神経内科学1	2前	1							1
	神経内科学2	2後	1							1
	精神医学1	2前	1							3
	精神医学2	2後	1							1
	小児科学	2後	1							4
	老年学	2後	1							1
	公衆衛生学	2後	1							1
	救急医学	2前	1							2
	スポーツ医学	2前		1						1
	リハビリテーション工学	2後	1			2				1
	基礎情報処理学	1前	1			1				
	医用情報処理学	3後	1			1				
コンピュータープログラミング		3前	1			1		1		2
医療経営学		1後		1		1		2		1
言語機能学		3前	1		1					2
言語療法学		3後		1		1				1
言語病理学		3後		1		1				2
小計(22科目)		-	18	4	0	2	2	1	3	20

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎分野	生物学	1前	1			0	0			1
	統計学	1前	1			0	0			1
	物理学	1前	1			1				1
	化学	1前		1		0				1
	数学	1前		1		1				1
	心理学	1前	1			0				1
	生命倫理学	1後		1						1
	文化人類学	1後	1			0				1
	コミュニケーション論	1前	1			1				1
	教育学	1後	1			0				1
	スポーツ・健康科学	1前	1			0				1
	英語1	1通	2			1				4
	英語2	1通	2			1				2
	中国語	1後		1		1				1
	ポルトガル語	1後		1		0				1
小計(15科目)		-	11	6	0	0	0	2	0	15
専門基礎分野	解剖学1	1通	2			0	1			
	解剖学2	1通	2			0	0	1	0	1
	解剖学実習	2後	1			0	1	0	1	3
	機能解剖学	1通	2			1				
	機能解剖学演習	1後	1			0	1			
	生理学1	1前	1			0				1
	生理学2	1後	1			0				1
	生理学実習	1後	1			0	1		1	1
	運動学1	1後	1			1				
	運動学2	2前	1			1				
	運動学3	2後	1			1				3
	運動学実習	2後	1			1	3	1	0	5
	人間発達学	1後	1			1	0			1
	病理学	1後	1							1
小計(14科目)		-	17	0	0	2	2	3	2	13
専門疾患分野	臨床心理学	1後	1			1				0
	一般臨床医学	2通	1			0	1	0		17
	内科学	2前	1			1				6
	整形外科学1	2前	1			1				5
	整形外科学2	2後	1			1				6
	神経内科学1	2前	1			2				1
	神経内科学2	2後	1			1				1
	精神医学1	2前	1			1				4
	精神医学2	2後	1			1				4
	精神医学	2前	1			1				10
	臨床栄養学	1後	1			1				1
	小児科学	2後	1			0				6
	老年学	2後	1			0				1
	公衆衛生学	2後	1			0				2
	救急医学	2前	1			1				3
	スポーツ医学	2前	1			1				1
	リハビリテーション工学	2後	1			1				1
	基礎情報処理学	1前	1			1				1
	医用情報処理学	3後	1			1				1
	コンピュータープログラミング	3前	1			1			2	2
	医療経営学	1後		1		1			0	1
	言語機能学	3前	1		1			0	0	2
	言語療法学	3後		1		1		0	0	1
	言語病理学	3後		1		1		0	0	2
小計(22科目)		-	18	4	0	1	3	2	0	61

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門基礎分野	リハビリテーション医学概論	1前	1					1		1
	リハビリテーション評価概論	2前	1							4
	小計(2科目)	-	2	0	0	0	0	1	0	5
	合計(53科目)	-	48	11	0	4	7	5	3	35
基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1				1			
	作業療法概論	1前		1		1				
	理学療法教育・管理学概論	1後		1			1			
	理学療法研究概論	3前		1			1			
	臨床運動学	3前	1					1		
	病態運動学	3後	1				1			
	表面解剖学(理)	3前	1				1			1
	小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	2	1	0
理学療法評価学	検査・測定論1(理)	1後	1			1		1		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1		1		
	検査・測定論2(理)	1後	1				1			
	検査・測定論実習2(理)	2後	1				1		1	
	理学療法評価演習	2後	1				1			
	動作分析論	2前	1				1			
	客観的臨床能力演習1	2後	1			4	3	10		
	小計(7科目)	-	7	0	0	4	3	10	1	0
専門分野	義肢学	2前	1							1
	装具学	2前	1				1			
	義肢・装具学実習	2後	1				1		1	
	日常生活活動学(理)	2前	1				1			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1				1		1	
	運動療法学	2前	1					1		
	運動療法学実習	3前	1				1		1	
	理学療法治療学1-中枢1	2後	1			1				
	理学療法治療学2-中枢2	3後	1				1			
	理学療法治療学3-中枢3	2前	1				1			
	理学療法治療学4-整形1	1後	1				1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1				1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1							1
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1							
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1				1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1				1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1							
	物理療法学	1後	1				1			
	物理療法学実習	2前	1				1		1	
	客観的臨床能力演習2	3後	1			4	3	10		2
	客観的臨床能力演習3	4前	1			4	3	10		2
	小計(21科目)	-	21	0	0	4	3	10	1	2
地域理学療法学	社会福祉学	1前	1					1		1
	社会保障制度論	1後		1						
	レクリエーション・セラピー	1後	1				1			
	地域リハビリテーション学(理)	3後	1				1			
	地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1				1			
	小計(5科目)	-	4	1	0	0	0	2	1	0
臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1				4	3	10	
	初期体験実習	2後	3			4	3	10		
	臨床実習	3通	18			4	3	10		
	応用臨地実習	4前	12			4	3	10		
	小計(4科目)	-	34	0	0	4	3	10	0	0
特論	理学療法学特論	4後	1			1				
	小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0
	臨床研究	3後~4前	2			4	3	10		
	小計(1科目)	-	2	0	0	4	3	10	0	0
	合計(46科目)	-	73	4	0	4	3	10	2	8

【令和3年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
専門基礎分野	リハビリテーション医学概論	1前	1					1		2
	リハビリテーション評価概論	2前	1							6
	地域リハビリテーション学	3前	1					1	1	2
	職業関連活動学	3前	1							1
	小計(4科目)	-	4	0	0	0	2	1	0	11
	合計(55科目)	-	50	10	0	3	5	6	2	87
基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1					1		
	作業療法概論	1前		1			0			3
	理学療法教育・管理学概論	1後		1			1	0		1
	理学療法研究概論	3前		1			1	2	0	
	臨床運動学	3前	1							
理学療法評価学	病態運動学	3後	1				1	0	1	
	表面解剖学(理)	3前	1				1	2		1
	小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	2	1	5
専門分野	検査・測定論1(理)	1後	1			1		1		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1		1		
	検査・測定論2(理)	1後	1			1		1		
	検査・測定論実習2(理)	2後	1			1		1	1	0
	理学療法評価演習	2後	1				1			
理学療法治療学	動作分析論	2前	1				1	2		
	客観的臨床能力演習1	2後	1				3	2	7	0
	小計(7科目)	-	7	0	0	3	2	7	3	0
理学療法治療学	義肢学	2前	1				0			1
	装具学	2前	1				1			
	義肢・装具学実習	2後	1				1	1	0	1
	日常生活活動学(理)	2前	1				0			1
	日常生活活動学実習(理)	2後	1				1	1	0	1
理学療法実習	運動療法学	2前	1				1	0		
	運動療法学実習	3通	1				1	1	0	0
	理学療法治療学1-中枢1	2後	1			0				
	理学療法治療学2-中枢2	3後	1			1				
	理学療法治療学3-中枢3	2前	1			1				
地域理学療法学	理学療法治療学4-整形1	1後	1			1		1	1	0
	理学療法治療学5-整形2	2後	1			1		1	1	0
	理学療法治療学6-整形3	3後	1			1		1	1	0
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1			1		1	0	2
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1				1			
臨床実習	理学療法治療学9-内部障害	2後	1				1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1				1			
	物理療法学	1後	1				1			
	物理療法学実習	2前	1			1			2	1
	客観的臨床能力演習2	3後	1			3	2	7	0	7
特論	客観的臨床能力演習3	4前	1			3	2	7	0	7
	小計(21科目)	-	21	0	0	3	2	7	3	0
地域理学療法学	社会福祉学	1後	1				0	0		3
	社会保障制度論	1後		1			0			1
	レクリエーション・セラピー	1後	1				0			3
	地域リハビリテーション学(理)	3後	1				1			2
	地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1				1			2
小計(3科目)	小計(3科目)	-	3	0	0	0	1	0	0	6
臨床実習	基礎臨床見学実習	1通	1				3	2	7	4
	初期体験実習	2後	3			3	2	7		4
	臨床実習	3通	18			3	2	7		4
	応用臨地実習	4前	12			3	2	7		4
	小計(4科目)	-	34	0	0	4	3	10	0	0
特論	理学療法学特論	4後	1				1			
	小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0
	臨床研究	3後~4前	2			3	2	7	0	4
	小計(1科目)	-	2	0	0	4	3	10	0	0
	合計(47科目)	-	75	3	0	3	4	7	5	0

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
自由科目	国際医学概論	1前		2						1
	異文化看護概論	1・2・3・4前		2						1
	インターンシップ	1・2・3・4前		2	1					
	小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	2
総合計(102科目)		-	121	15	6	8	6	13	7	447
卒業要件及び履修方法										
卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位 (年間))										

【令和3年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
自由科目	国際医学概論	1前		2						14
	異文化看護概論	1・2・3・4前		2						2
	インターンシップ	1・2・3・4前		2	1					
	小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	15
総合計(105科目)		-	125	13	6	4	6	9	5	0
卒業要件及び履修方法										
卒業要件は必修科目125単位、選択科目6単位以上を修得し、合計131単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限：49単位 (年間))										

【令和元年度】

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
基礎分野	生物学	1前	1				1	0			1
	統計学	1前	1				0				1
	物理学	1前	1		1						1
	化学	1前		1							1
	数学	1前		1			0				1
	心理学	1前	1								1
	生命倫理学	1後		1							1
	文化人類学	1後		1							1
	教育学	1前		1							1
	スポーツ・健康科学	3通	2						1		1
	英語1	1通	2								4
	英語2	1通	2				1				2
	中国語	1後		1							1
	ポルトガル語	1後		1		0					1
	医学英語	2前	1				1				
小計(15科目)		-	11	7	0	0	1	3	1	0	14
人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学1	1通	2			1	1				
	解剖学2	1通	2			1	0	1	0		
	解剖学実習	2前	1			1	0	1	0		
	機能解剖学	1通	2			1					
	機能解剖学演習	1後	1			1	1	1	1		
	生理学1	1前	1			1					
	生理学2	1後	1			1					
	生理学実習	1後	1			1	1		1	0	
	運動学1	1後	1			1					
	運動学2	2前	1			1					1
	運動学3	2後	1			2	3	3	3	0	3
	運動学実習	2後	1			1	0				1
	人間発達学	1後	1								
	病理学	1後	1								1
小計(14科目)		-	17	0	0	4	2	3	3	2	8
専門基礎分野	臨床心理学	1後	1				1				0
	一般臨床医学	2前	1			1	1	0			2
	内科学	2前	1			1	0				6
	整形外科学1	2前	1			1	0				4
	整形外科学2	2後	1			1	0				5
	神経内科学1	2前	1								1
	神経内科学2	2後	1								1
	精神医学1	2前	1								4
	精神医学2	2後	1								4
	小児科学	2後	1								6
	老年学	2後	1			1					0
	公衆衛生学	2後	1								2
	救急医学	2前	1								3
	スポーツ医学	2前		1							1
	リハビリテーション工学	2後	1				2				
	基礎情報処理学	1前	1				2	1			
	医用情報処理学	3後	1				2				
	コンピュータープログラミング	3前	1				1	2	0		
	医療経営学	1後		1		1			0		1
	言語機能学	3前	1			1					
	言語療法学	3後		1		1					
	言語病理学	3後		1		1		2	1		
小計(22科目)		-	18	4	0	3	4	3	1	0	34
八種類の選択科目		リハビリテーション医学概論	1前	1							1
		リハビリテーション評価概論	2前	1			1	0			4
		小計(2科目)	-	2	0	0	0	1	0	0	5
合計(53科目)		-	48	11	0	7	6	6	4	0	59

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1				1
	作業療法概論	1前	1		1	1				
	理学療法教育・管理学概論	1後	1			1				
	理学療法研究概論	3前	1			1	1			
	臨床運動学	3前	1			1	1	0		
	病態運動学	3後	1			1	1			
	表面解剖学(理)	3前	1			1	1			1
	小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	3	0	2
	検査・測定論1(理)	1後	1			1	1	0		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1	1	0		
理学療法評価学	検査・測定論2(理)	1後	1			1	1			
	検査・測定論実習2(理)	2後	1			1	1		1	
	理学療法評価演習	2後	1			1	1			
	動作分析論	2前	1			5	2	11		
	客観的臨床能力演習1	2後	1							
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	11	0	1
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	0	1
	義肢学	2前	1			1	1			1
	装具学	2前	1			1	1			
	義肢・装具学実習	2後	1			1	1			
専門分野	日常生活活動学(理)	2前	1			1	1			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1			1	1			
	運動療法学	2前	1			2	0			
	運動療法学実習	3前	1			1	0			
	理学療法治療学1-中枢1	2後	1			1	1			
	理学療法治療学2-中枢2	3後	1			1	1			
	理学療法治療学3-中枢3	2前	1			1	1			
	理学療法治療学4-整形1	1後	1			1	1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1			1	1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1			1	1			
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1			1	1			1
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1			1	1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1			1	1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1			1	1			
	物理療法学	1後	1			1	1			
	物理療法学実習	2前	1			5	2	11	0	2
	客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	11		2
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	11		2
	小計(21科目)	-	21	0	0	5	2	11	0	5
地域理学療法学	社会福祉学	1前	1			1	1			1
	社会保障制度論	1後	1		1	1	1			
	レクリエーション・セラピー	1後	1			1	1			
	地域リハビリテーション学(理)	3後	1			1	1			
	地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1			1	1			
	小計(5科目)	-	4	1	0	0	0	2	1	0
	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	11		
	初期体験実習	2後	3			5	2	11		
	臨床実習	3通	18			5	2	11		
	応用臨地実習	4前	12			5	2	11		
特論	小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	11	0	0
	理学療法学特論	4後	1			1	1			
	小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0
	臨床研究	3後～4前	2			5	2	11		
	小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	11	0	0
	合計(46科目)	-	73	4	0	5	2	11	1	2
	小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	2
	総合計(102科目)	-	121	15	6	8	5	14	6	52

卒業要件及び履修方法

卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。
(履修科目的登録の上限：49単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1			1				1
	作業療法概論	1前	1		1	1				
	理学療法教育・管理学概論	1後	1			1				
	理学療法研究概論	3前	1			1	1			
	臨床運動学	3前	1			1	1	0		
	病態運動学	3後	1			1	1			
	表面解剖学(理)	3前	1			1	1			1
	小計(7科目)	-	4	3	0	1	1	3	0	2
	検査・測定論1(理)	1後	1			1	1	0		
	検査・測定論実習1(理)	2前	1			1	1	0		
理学療法評価学	検査・測定論2(理)	1後	1			1	1			
	検査・測定論実習2(理)	2後	1			1	1			
	理学療法評価演習	2後	1			1	1			
	動作分析論	2前	1			5	2	11		
	客観的臨床能力演習1	2後	1							
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	11	0	1
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	0	1
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	0	1
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	0	1
	小計(7科目)	-	7	0	0	5	2	8	0	1
専門分野	義肢学	2前	1			1	1			1
	装具学	2前	1			1	1			
	義肢・装具学実習	2後	1			1	1			
	日常生活活動学(理)	2前	1			1	1			
	日常生活活動学実習(理)	2後	1			1	1			
	運動療法学	2前	1			2	0			
	運動療法学実習	3前	1			1	0			
	理学療法治療学1-中枢1	2後	1			1	1			
	理学療法治療学2-中枢2	3後	1			1	1			
	理学療法治療学3-中枢3	2前	1			1	1			
	理学療法治療学4-整形1	1後	1			1	1			
	理学療法治療学5-整形2	2後	1			1	1			
	理学療法治療学6-徒手療法	3後	1			1	1			
	理学療法治療学7-スポーツ	3後	1			1	1			2
	理学療法治療学8-呼吸	3前	1			1	1			
	理学療法治療学9-内部障害	2後	1			1	1			
	理学療法治療学10-小児	3前	1			1	1			2
	物理療法学	1後	1			1	1			
	物理療法学実習	2前	1			5	2	11	0	3
	客観的臨床能力演習2	3後	1			5	2	8		4
	客観的臨床能力演習3	4前	1			5	2	8		4
	小計(21科目)	-	21	0	0	5	2	11	0	5
地域理学療法学	社会福祉学	1前	1			1	1			1
	社会保障制度論	1後	1		1	1	1			
	レクリエーション・セラピー	1後	1			1	1			
	地域リハビリテーション学(理)	3後	1			1	1			
	地域リハビリテーション学実習(理)	4前	1			1	1			
	小計(5科目)	-	4	1	0	0	0	2	1	0
	基礎臨床見学実習	1通	1			5	2	11		
	初期体験実習	2後	3			5	2	8		
	臨床実習	3通	18			5	2	8		
	応用臨地実習	4前	12			5	2	8		
特論	小計(4科目)	-	34	0	0	5	2	11	0	0
	理学療法学特論	4後	1			1	1			
	小計(1科目)	-	1	0	0	1	0	0	0	0
	臨床研究	3後～4前	2			5	2	8		
	小計(1科目)	-	2	0	0	5	2	8	0	0
	合計(46科目)	-	73	4	0	5	2	9	2	21
	小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	15
	総合計(102科目)	-	121	15	6	8	5	14	6	52

卒業要件及び履修方法

卒業要件は必修科目121単位、選択科目6単位以上を修得し、合計127単位以上に加えて卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。
(履修科目の登録の上限：49単位(年間))

- (注)
 - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
 - （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（1）-②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- 申請時記載誤りの修正により、「統計学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- 科目担当者の変更により、「数学」の教員配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「スポーツ・健康科学」の教員配置を「兼任1」から「助教1、兼任1」に変更。
- 専門性の高い教員配置を図るため、「ボルトガル語」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助手1」から「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助手2」から「教授1、准教授1、助教1、助手1」に変更。
- 担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助手4、兼任1」から「教授1、講師2、助教1、助手2、兼任1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- 申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置を「教授1、助教2」から「教授1、兼任2」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「表面解剖学（作）」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1、助教1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「日常生活活動学実習（作）」の教員配置を「助教1、助手1」から「助教2」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「応用臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2、講師11」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「臨床研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師10」から「教授5、准教授2」へ変更。

【令和2年度】

- 記載の誤りにより、「数学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「英語1」の教員配置を「兼任1」から「兼任2、兼任2」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「英語2」の教員配置を「兼任1、兼任1」から「講師1、兼任1、兼任2」に変更。
- 担当教員の退職により、「解剖学2」の教員配置を「教授1、講師1」から「教授1、助教1」に変更。
- 担当教員の退職および専門性の深化を図るため、「解剖学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、講師1、助手1」から「教授1、准教授1、助教1、兼任2」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「機能解剖学演習」の教員配置を「准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「生理学実習」の教員配置を「教授1、准教授1、助手1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「運動学3」の教員配置を「兼任1」から「兼任3」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「運動学実習」の教員配置を「教授1、講師2、助教1、助手2、兼任1」から「教授2、講師3、助教3、兼任1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「人間発達学」の教員配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。
- 担当教員の職位変更、配置転換により、「一般臨床医学」の教員配置を「講師1、兼任3」から「教授1、准教授1、兼任2」に変更。
- 担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「内科学」の教員配置を「講師1、兼任4」から「准教授1、兼任6」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「整形外科学1」の教員配置を「講師1、兼任4」から「准教授1、兼任4」へ変更。
- 担当教員の職位変更、専門性の深化を図るため、「整形外科学2」の教員配置を「講師1、兼任2」から「准教授1、兼任5」へ変更。
- 専門性の深化を図るため、「精神医学1」の教員配置を「兼任3」から「兼任4」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「精神医学2」の教員配置を「兼任1」から「兼任4」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「小児科学」の教員配置を「兼任4」から「兼任6」に変更。
- 担当教員の配置転換により、「老年学」の教員配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の教員配置を「兼任2」から「兼任2」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「急救医学」の教員配置を「兼任1、兼任1」から「兼任1、兼任2」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の教員配置を「准教授1」から「准教授2、講師1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「医用処理学」の教員配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授1、講師1」から「准教授1、講師2」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「医療経営学」の教員配置を「教授1、兼任2」から「教授1、兼任1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「言語機能学」の教員配置位置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「言語病理学」の教員配置位置を「教授1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「リハビリテーション評価概論」の教員配置位置を「講師1、兼任4」から「准教授1、兼任4」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「作業療法研究概論」の教員配置位置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- 担当教員の退職により、「運動学習理論」の教員配置を「講師1」から「兼任1」へ変更。
- 記載の誤りの修正のため、「表面解剖学（作）」の教員配置を「講師1、助教1」から「助教1」へ変更。
- 専門性の深化を図るため、「検査・測定論1（作）」の教員配置を「講師1」から「講師1、助教1」へ変更。
- 専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習1（作）」の教員配置を「助教1、助手1」から「助教2」へ変更。
- 担当教員の出産による不在、専門性の深化を図るため、「検査・測定論2（作）」の教員配置を「助教1」から「助教2」へ変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8、兼任1」へ変更。
- 担当教員の配置転換により、「義肢学」の教員配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- 記載の誤りの修正のため、「スプリント製作実習」の教員配置を「講師1、助手1」から「講師1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「日常生活活動学（作）」の教員配置を「兼任1」から「助教1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「作業療法治療学3-中板3」の教員配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- 担当教員の退職により、「作業療法治療学6-整形2」の教員配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「作業療法治療学7-内部障害」の教員配置を「助教1」から「教授1、助手1」に変更。
- 専門性の深化を図るため、「作業学1-革細工・籐細工」の教員配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- 担当教員の退職により、「作業学2-木工・陶芸」の教員配置を「講師1」から「教授1、助手1」に変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8、兼任3」へ変更。
- 担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8、兼任4」へ変更。
- 担当教員の退職により、「社会福祉学」の教員配置を「講師1、助教1」から「兼任3」に変更。
- 担当教員の退職により、「レクリエーション・セラピー」の教員配置を「講師1」から「講師1、助手1、兼任1」に変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8」へ変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「初期体験実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8」へ変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「臨床実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8」へ変更。
- 担当教員の退職、留学、専門性の深化を図るため、「応用臨地実習」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8」へ変更。
- 担当教員の退職、留学により、「臨床研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師11」から「教授5、准教授2、講師8」へ変更。
- 専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の教員配置を「兼任1」から「教授1、准教授1、講師2、兼任1」へ変更。

【令和3年度】

- ・申請時記載誤りの修正により、「生物学」の教員配置を「准教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「文化人類学」を開講する。
- ・新カリキュラムの導入により、「教育学」の開講時期を「1年前期」から「1年後期」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「コミュニケーション論」を開講する。
- ・新カリキュラムの導入により、「スポーツ・健康科学」の開講時期を「3年通年」から、「1年前期」へ変更し、単位数を「2単位」から「1単位」とする。
- ・専門性の深化を図るため、「医学英語」の教員配置を「講師1」から「講師1・兼任1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「解剖学1」の「教授1・准教授1」を「准教授1」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正および教員の退職および配置変更により、「解剖学2」の教員配置を「教授1・講師1」から「助教1・兼任1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「解剖学実習」の開講時期を「2年前期」から「2年後期」へ変更。申請時記載誤りの修正、教員配置変更、職位変更および実施内容の充実のために、教員配置を「教授1・准教授1・講師1・助教1」から「准教授1・助教1・兼任3」へ変更。
- ・専門性の深化および申請時記載誤りの修正のため、「機能解剖学演習」の教員配置を「准教授1」から「准教授1・助教1・兼任1」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「生理学1」の教員配置を「教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「生理学2」の教員配置を「教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正および教員配置の変更により、「生理学実習」の教員配置を「教授1・准教授1・助手2」から「准教授1・助教1・兼任1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「運動学実習」の教員配置を「教授1・講師1・助教1・助手4・兼任1」から「教授1・講師3・助教1・兼任4・兼任1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「一般臨床医学」の開講時期を「2年後期」から「2年通年」へ変更し、専門性の深化を図るために教員の配置変更のために、教員配置を「講師1・兼任3」から「准教授1・兼任1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と職位変更のため、「整形外科学1」の教員配置を「講師1・兼任4」から「准教授1・兼任5」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と職位変更のため、「整形外科学2」の教員配置を「講師1・兼任2」から「准教授1・兼任6」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「精神医学1」と「精神医学2」を統合し、「精神医学」にする。
- ・新カリキュラムの導入により、「臨床栄養学」を開講する。
- ・申請時記載誤りの修正により、「リハビリテーション工学」の教員配置を「准教授2」から「准教授1・兼任1」へ変更。
- ・専門性の深化および申請時記載誤りの修正により、「基礎情報処理学」の教員配置を「准教授1」から「准教授1・講師1・兼任1」へ変更。
- ・専門性の深化のため、「コンピュータープログラミング」の教員配置を「准教授1・助教1」から「准教授1・講師2・兼任2」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「医療経営学」の開講時期を「1年後期」から「1年前期」へ変更。
- ・専門性の深化および申請時記載誤りの修正により、「言語機能学」の教員配置を「教授1」から「兼任2」へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「言語病理学」の教員配置を「教授1」から「兼任1」へ変更。
- ・専門性の深化および申請時記載誤りの修正により、「言語病理学」の教員配置を「教授1」から「兼任2」へ変更。
- ・専門性の深化のため、「リハビリテーション医学概論」の教員配置を「兼任1」から「兼任2」へ変更。
- ・担当教員の職位変更と専門性の深化のため、「リハビリテーション評価概論」を、「講師1・兼任4」から「准教授1・兼任6」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「地域リハビリテーション学」の科目分野を「地域理学療法学」から「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「職業関連活動学」を開講する。
- ・担当教員の退職に伴う配置変更および申請時記載誤りの修正により、「作業療法概論」の教員配置を「教授1」から「兼任2・兼任1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「理学療法研究概論」の教員配置を「准教授1・講師1」から「准教授1・兼任1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法教育・管理学概論」の科目区分を「基礎理学療法学」から「理学療法管理学」へ変更し、開講時期を「1年後期」から「3年後期」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「社会保障制度論」の科目区分を「地域理学療法学」から「理学療法管理学」へ変更。
- ・担当教員の職位変更と専門性の深化のため、「臨床運動学」の教員配置を「助教1」から「講師2」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「運動学習理論」を開講する。
- ・専門性の深化および担当教員の配置変更のため、「検査測定論1(理学)」の教員配置を「教授1・助教1」から「教授1・助教2・兼任1」へ変更。
- ・専門性の深化および担当教員の配置変更のため、「検査測定論実習1(理学)」の教員配置を「教授1・助教1」から「教授1・助教2・兼任1」へ変更。
- ・担当教員の職位変更のため、「検査測定論実習2(理学)」の教員配置を「講師1・助教1」から「講師1・助教1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「客観的臨床能力演習1」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・新カリキュラム導入のため、「客観的臨床能力演習1」の開講時期を「2年後期」から「2年前期」へ変更。
- ・担当教員の職位変更のため、「義肢装具学実習」の教員配置を「講師1・助教1」から「講師1・助教1」へ変更。
- ・担当教員の職位変更のため、「日常生活活動学実習(理学)」の教員配置を「講師1・助教1」から「講師1・助教1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「運動療法学実習」の開講時期を「3年前期」から「3年通年」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「理学療法治療学1-中核1」の教員配置を「教授1」から「助教1」へ変更。
- ・専門性の深化のため、「理学療法治療学4-整形1」の教員配置を、「講師1」から「講師1・助教1」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学6-徒手療法」を開講する。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学7-スポーツ」の名称を「理学療法治療学6-スポーツ」に変更し、専門性の深化のため教員配置を「兼任1」から「兼任2」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学8-呼吸」の名称を「理学療法治療学7-呼吸」に変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学9-内部障害」の名称を「理学療法治療学8-内部障害」に変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学10-小児」の名称を「理学療法治療学9-小児」に変更し、専門性の深化を図るために、教員配置を「教授1」から「教授1・講師1・兼任2」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「歩行再建学」を開講する。
- ・担当教員の職位変更と実施内容の充実を図るため、「物理療法学実習」の教員配置を「講師1・助教1」から「講師2・助教1」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10・兼任2」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4・兼任3」へ変更し、新カリキュラムの導入により開講時期を「3年」から「2年」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「客観的臨床能力演習3」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10・兼任2」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4・兼任3」へ変更し、新カリキュラムの導入により開講時期を「4年」から「3年」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「地域リハビリテーション学実習(理学)」の科目区分を「地域理学療法学」から「臨床実習」へ変更。
- ・新カリキュラムの導入により、「地域理学療法学」を開講する。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「基礎臨床見学実習」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「初期体験実習」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「臨床実習」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「応用臨地実習」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・担当教員の配置変更と申請時記載誤りの修正のため、「臨床研究」の教員配置を「教授4・准教授3・講師10」から「教授3・准教授2・講師7・兼任4」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「国際医学概論」の教員配置を「兼任1」から「准教授2・講師1・兼任14」へ変更。
- ・担当教員の配置変更のため、「異文化看護概論」の教員配置を「兼任1」から「兼任2」へ変更。

【令和4年度】

--

- (注) • 2(1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
• 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
• 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
84 科目	15 科目	3 科目	102 科目	89 科目 [5]	13 科目 [△2]	3 科目 []	105 科目 [3]	

- (注) • 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	文化人類学	1	1	一般	選択	指定規則の改正に伴い、令和2年4月1日に教育課程の変更を実施。代替措置としてコミュニケーション論を新設。
2	理学療法治療学6-徒手療法	1	3	専門	必修	指定規則の改正に伴い、令和2年4月1日に教育課程の変更を実施。代替措置として歩行再建学を新設。
3						

- (注)
 - ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正に伴い、令和2年4月1日に教育課程の変更を実施し、2科目が廃止となった。文化人類学の代替科目としてコミュニケーション論を新設し、理学療法治療学6-徒手療法の代替科目として歩行再建学を新設した。改正内容に沿って科目の内容を見直し、充実を図った。

学生への周知方法：シラバスに反映させ、周知した。

- (注)
 - ・ 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{102} = \boxed{1.96\%}$$

- (注)
 - ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考	
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 校地面積の集計状況変更の為(3)	
	校舎敷地	237,929.20m ² 236,098.72m ² 132,000.49m ²	0.00m ²	0.00m ²	237,929.20m ² 236,098.72m ² 132,000.49m ²			
	運動場用地	46,351.00m ² 46,351.11m ²	0.00m ²	0.00m ²	46,351.00m ² 46,351.11m ²			
	小計	284,280.20m ² 282,449.72m ² 178,351.49m ²	0.00m ²	0.00m ²	284,280.20m ² 282,449.72m ² 178,351.49m ²			
	その他	154,796.31m ² 138,113.82m ² 84,081.18m ²	0.00m ²	0.00m ²	154,796.31m ² 138,113.82m ² 84,081.18m ²			
	合計	439,076.51m ² 420,563.54m ² 262,432.67m ²	0.00m ²	0.00m ²	439,076.51m ² 420,563.54m ² 262,432.67m ²			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体	校舎面積の集計状況変更の為(2)-(3)	
	91,306.41m ² 93,295.01m ² 81,879.93m ² (81,879.93m ²)	0.00m ²	0.00m ²	91,306.41m ² 93,295.01m ² 81,879.93m ² (81,879.93m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	改修工事による教室減、他学部・他学科を抜いたため変更(3)		
	8室 72室	11室 64室	5室 128室	0室 3室 (補助職員 0人)	0室 1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数				
	保健衛生学部			15 43 66	室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体
	保健衛生学部	169,188 [74,603] 470,551 [77,527] 170,837 [81,202] 170,622 [80,898] (170,551 [77,527])	3,538 [1,835] 3,553 [1,881] 3,517 [1,896] 3,454 [1,886] (3,553 [1,881])	3,289 [1,829] 3,299 [1,876] 3,245 [1,888] 3,161 [1,875] (3,299 [1,875])	2,054 2,212 2,136 4,592 (2,212)	8,193 7,871 8,022 7,982 (7,871)	15	・図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料は新規購入と除籍の為変更(元)-(2)-(3)
	計	169,188 [74,603] 470,551 [77,527] 170,837 [81,202] 170,622 [80,898] (170,551 [77,527])	3,538 [1,835] 3,553 [1,881] 3,517 [1,896] 3,454 [1,886] (3,553 [1,881])	3,289 [1,829] 3,299 [1,876] 3,245 [1,888] 3,161 [1,875] (3,299 [1,875])	2,054 2,212 2,136 4,592 (2,212)	8,193 7,871 8,022 7,982 (7,871)	15	・機械・器具は新規購入と除却により減(元)-(2)-(3)
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体 座席数増の為変更(3)
	2,668.35m ² 3,364.49m ²		300 298 280		167,225冊 200,000冊			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	3,344.71m ²		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教員1人あたりの研究費と共に共同研究費は教員の増減の他専攻を抜いたため変更(元)-(2)-(3) ・図書、設備購入費は教員の増減の他専攻を抜いたため変更(元)-(2)-(3)
	経費の見積り	教員1人当たり研究費等	672千円 634千円	737千円 639千円 654千円 632千円	図書購入費	488千円	488千円	
	共同研究費等	4,700千円 4,400千円	1,655千円 5,210千円 5,070千円 4,840千円	設備購入費	6,431千円	6,431千円	4,773千円 7,796千円 6,431千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,550千円	第3年次 1,550千円	第4年次 1,550千円	第5年次 千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	藤田医科大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医学部	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<u>医学科</u>	6	120	-	720	-	1.00	1.00	-	昭和47	-	平成27年度入学定員増(5名)
<u>医学科</u>	6	120	-	720	学士(医学)	1.00	1.00	平成27 平成28	昭和47	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ丘1番地98	平成28年度入学定員増(5名)
医療科学部	4	230	-	885	-	1.05	1.03	-	平成20	-	
<u>医療検査学科</u>	4	140	-	560	学士(医療検査科学)	1.01	1.01	-	平成31	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ丘1番地98	
臨床検査学科	4	-	-	-	学士(保健衛生学)	-	-	-	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
放射線学科	4	90	-	325	学士(診療放射線技術学)	1.06	1.07	-	昭和62	同上	平成31年4月定員増(35名)
リハビリテーション学科	4	-	-	-	学士(理学療法学) 学士(作業療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
<u>理学療法専攻</u>	4	-	-	-	学士(理学療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
<u>作業療法専攻</u>	4	-	-	-	学士(作業療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
臨床工学科	4	-	-	-	学士(臨床工学)	-	-	-	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
医療経営情報学科	4	-	-	-	学士(医療経営情報学)	-	-	-	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
保健衛生学部	4	250	-	1,000	-	1.02	1.04	-	平成31	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ丘1番地98	
<u>看護学科</u>	4	135	-	540	学士(看護学)	1.02	1.03	-	平成31	同上	
リハビリテーション学科	4	115	-	460	学士(理学療法学) 学士(作業療法学)	1.02	1.04	-	平成31	同上	
<u>理学療法専攻</u>	4	70	-	280	学士(理学療法学)	1.00	1.00	-	平成31	同上	
<u>作業療法専攻</u>	4	45	-	180	学士(作業療法学)	1.07	1.11	-	平成31	同上	
大学全体	-	600	-	2,605	-	1.02	1.03	-	-	-	
大学の名称	藤田医科大学大学院						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医学研究科	年	人	年次	人		倍	倍				
<u>医学専攻</u>	4	57	-	218	-	0.72	0.77	-	昭和53	-	
<u>医学専攻</u>	4	52	-	208	博士(医学)	0.75	0.78	-	平成30	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ丘1番地98	平成30年4月学生募集停止
<u>形態系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>機能系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>保健衛生系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>分子医学系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和62	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>内科系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>外科系専攻</u>	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
<u>医科学専攻</u>	2	5	-	10	修士(医科学)	0.70	0.60	-	令和2	同上	平成30年4月学生募集停止 令和2年4月新設
保健学研究科	-	58	-	124	-	1.18	1.13	-	平成13	-	
<u>保健学専攻</u>	2	50	-	100	修士(保健学) 修士(看護学)	1.17	1.12	-	平成13	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ丘1番地98	平成30年4月学生募集停止
<u>医療科学専攻</u>	3	8	-	24	博士(医療科学)	1.20	1.25	-	平成27	同上	平成31年定員増(4名)
大学院全体	-	115	-	342	-	0.95	0.95	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等					
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名					
		金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)		専 教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)		専 教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)	専 教授	金田 嘉清 <平成31年4月> 博士(医学)		専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)				
専 教授		理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 教授	理学療法治療学10-小児 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 教授	理学療法治療学10-小児※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	理学療法治療学10-小児※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 運動学実習 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)					
専 教授		寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)		専 教授	理学療法治療学1-中枢1 理学療法治療学3-中枢3 運動学1 運動学2※ 理学療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 教授	理学療法治療学1-中枢1※ 理学療法治療学3-中枢3 運動学1 運動学2※ 理学療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	理学療法治療学1-中枢1※ 理学療法治療学3-中枢3 運動学1 運動学2※ 理学療法学特論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)	専 教授	寺西 利生 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健衛生学)					
専 教授		櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)		専 教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)		専 教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専 教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)		専 教授	検査・測定論1(理) 検査・測定論実習1(理) 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	検査・測定論1(理) 検査・測定論実習1(理) 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)	専 教授	櫻井 宏明 <平成31年4月> 博士(保健衛生学)
専 教授		米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		専 教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		専 教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専 教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		専 教授	医療経営学※ インターンシップ	専 教授	医療経営学※ インターンシップ	専 教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	専 教授	医療経営学※ インターンシップ
専 准教 授		田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション 学)		専 准教 授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション 学)		専 准教 授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション 学)	専 准教 授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション 学)		専 准教 授	基礎情報処理学 リハビリテーション工学 コンピューターフ로그ラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 准教 授	基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピューターフ로그ラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 医用情報処理学※	専 准教 授	田辺 茂雄 <平成31年4月> 博士(工学) 修士(リハビリテーション 学)	専 准教 授	基礎情報処理学※ リハビリテーション工学※ コンピューターフ로그ラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 医用情報処理学※
専 准教 授		西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		専 准教 授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		専 准教 授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)	専 准教 授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		専 准教 授	解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習	専 准教 授	解剖学1※ 機能解剖学 機能解剖学演習 生理学実習 解剖学実習	専 准教 授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)	専 准教 授	西井 一宏 <平成31年4月> 博士(医学)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別		氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等						
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名						
		大塚 圭 <平成31年4月> 博士（医学）		専 准教授	大塚 圭 <平成31年4月> 博士（医学）		専 准教授	大塚 圭 <平成31年4月> 博士（医学）		専 准教授	大塚 圭 <平成31年4月> 博士（医学）					
専 准教授	理学療法概論 理学療法研究概論 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 准教授	理学療法概論 理学療法研究概論 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 准教授	理学療法概論 理学療法研究概論※ 病態運動学 動作分析論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 国際医学概論*		専 准教授	理学療法概論 理学療法研究概論※ 病態運動学 動作分析論 運動学習理論 歩行再建学 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 国際医学概論*		専 准教授	理学療法概論 理学療法研究概論※ 病態運動学 動作分析論 運動学習理論 歩行再建学 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 国際医学概論*			
専 准教授	松下 文雄 <平成31年4月> 博士（農芸化学） 修士（農学）		専 准教授	松下 文雄 <平成31年4月> 博士（農芸化学） 修士（農学）		専 准教授	生物学									
専 准教授	生物学		専 准教授			専 准教授	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士（健康心理学）		専 准教授	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士（健康心理学）						
			専 准教授			専 准教授	臨床心理学 国際医学概論*		専 准教授	臨床心理学 国際医学概論*						
			専 准教授			専 准教授			専 准教授	片山 鶴 <令和3年4月> 修士（福祉マネジメント） 博士（臨床福祉学）						
			専 准教授			専 准教授			専 准教授	地域リハビリテーション学 地城リハビリテーション						
専 講師	加賀 順子 <平成31年4月> 修士（医療・マネジメント 学）		専 講師	加賀 順子 <平成31年4月> 修士（医療・マネジメント 学）		専 講師	社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 (理) 地域リハビリテーション学実 習（理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 (理) 地域リハビリテーション学実 習（理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）
専 講師	社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 (理) 地域リハビリテーション学実 習（理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	社会福祉学 日常生活活動学（理） 日常生活活動学実習（理） 地域リハビリテーション学 (理) 地域リハビリテーション学実 習（理） 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）
専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）		専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）		専 講師	横田 元実 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（保健衛生学）
専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	装具学 運動学実習 義肢装具学実習 理学療法治療学2－中板2 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		専 講師	人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学1※ 整形外科学2※ リハビリテーション評価概論 ※		専 講師	人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学1※ 整形外科学2※ リハビリテーション評価概論 ※		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）
専 講師	人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学1※ 整形外科学2※ リハビリテーション評価概論 ※		専 講師	人間発達学 一般臨床医学※ 内科学※ 整形外科学1※ 整形外科学2※ リハビリテーション評価概論 ※		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）		専 講師	尾閑 恵 <平成31年4月> 博士（医学）

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等																								
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名																								
専 講師	鈴木 由佳理 <平成31年4月> 博士（医学）	鈴木 由佳理 <平成31年4月> 博士（医学）	鈴木 由佳理 <平成31年4月> 博士（医学）	専 講師	鈴木 由佳理 物理療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法学実習 物理療法評価演習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	鈴木 由佳理 物理療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法評価演習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	鈴木 由佳理 物理療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法評価演習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 日常生活活動学実習（理） 理学療法治療学5-整形1 理学療法治療学10-小児※ 地域リハビリテーション学実習（理） 地理学療法学	専 講師	鈴木 由佳理 物理療法治療学4・整形1 物理療法学 物理療法評価演習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 日常生活活動学実習（理） 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学10-小児※ 地域リハビリテーション学実習（理） 地理学療法学	専 講師	都築 晃 <平成31年4月> 博士（医学）	都築 晃 理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	都築 晃 理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9 内部障害 理学療法治療学8 呼吸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 地域リハビリテーション学（理）※	専 講師	都築 晃 理学療法教育・管理学概論 理学療法治療学9-内部障害 理学療法治療学8-呼吸 理学療法治療学7-内部障害 理学療法治療学7-呼吸 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 地域リハビリテーション学（理）※	専 講師	松田 文浩 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	松田 文浩 運動療法学 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	松田 文浩 運動療法学 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 理学療法治療学7-徒手療法 運動学実習 客観的臨床能力演習1- 客観的臨床能力演習2- 客観的臨床能力演習3- 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習 運動療法学	専 講師	松田 文浩 運動療法学 理学療法治療学5-整形2 理学療法治療学6-徒手療法 運動学実習 運動学実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習 運動療法学	専 講師	谷川 広樹 <平成31年4月> 博士（医学） 修士（学術）	谷川 広樹 検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	谷川 広樹 検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 講師	谷川 広樹 検査・測定論実習2（理） 検査・測定論2（理） 運動療法学実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	専 講師	上原 信太郎 <平成31年4月> 博士（人間・環境学）	上原 信太郎 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	上原 信太郎 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習 コンピュータプログラミング 物理療法学実習	専 講師	上原 信太郎 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習 運動学実習 コンピュータプログラミング 物理療法学実習	専 講師	三浦 恵二 <平成31年4月> 博士（理学）	三浦 恵二 化学	三浦 恵二 化学	三浦 恵二 化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専 任	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)		専 任	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)		専 任	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)		専 任	講師	清野 溪 <平成31年4月> 修士(経営学)	
		医学英語				医学英語				医学英語 英語2※ 国際医学概論※				医学英語 英語2※ 国際医学概論※	
専 任	助教	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)		専 任	講師	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)		専 任	講師	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)		専 任	講師	小山 総市朗 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(保健学)	
		検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング				検査測定論1(理) 検査測定論実習1(理) 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床見学実習 客観的臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究				検査測定論1-(理)- 検査測定論実習1-(理)- 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 リハビリテーション工学※ 検査測定論実習2(理) 物理療法学		基礎情報処理学 検査測定論1-(理)- 検査測定論実習1-(理)- 運動学実習 運動療法学 臨床運動学 コンピュータープログラミング※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 リハビリテーション工学※ 検査測定論実習2(理) 歩行再進学 物理療法学 物理療法学実習			
専 任	助教			専 任	助教			専 任	助教	土山 和大 <平成31年4月> 修士(学術)		専 任	助教	土山 和大 <平成31年4月> 修士(学術)	
						運動療法学実習 理学療法治療学1-中枢1※ 物理療法学実習				運動療法学実習 理学療法治療学1-中枢1※ 物理療法学実習 検査・測定論実習2				金津 直樹 <平成31年4月> 博士(障害科学)	
専 任	助教			専 任	助教			専 任	助教	金津 直樹 <平成31年4月> 博士(障害科学)				金津 直樹 <平成31年4月> 博士(障害科学)	
						解剖学2※ 解剖学実習 機能解剖学実習 生理学実習 表面解剖学(理)※								武田 和也 <令和3年4月> 修士(健康科学)	
専 任	助教			専 任	助教			専 任	助教	検査・測定論1(理)※ 検査・測定論実習1(理)				速 貴郎 <令和3年4月> 修士(保健学)	
										検査・測定論1(理)※ 検査・測定論実習1(理) 日常生活活動学実習				井伊 卓真 <令和3年4月> 修士(保健学)	
専 任	助教			専 任	助教					理学療法治療学4-整形1 整形・装具学実習 物理療法学実習 歩行再進学 臨床研究 地域リハビリテーション学実習					

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名		
		鈴木 孝治 <平成31年4月> 修士(教育学) 修士(リハビリテーション)			鈴木 孝治 <平成31年4月> 修士(教育学) 修士(リハビリテーション)				鈴木 孝治 <平成31年4月> 修士(教育学) 修士(リハビリテーション)				山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)			
兼任	教授	作業療法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		兼任	教授	作業療法概論 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		兼任	教授	作業療法概論※ 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究		兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	山田 晃司 <平成31年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習		兼任	教授	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習		兼任	教授	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 機能解剖学演習		兼任	教授	生理学1 生理学2 解剖学1※ 解剖学2※ 生理学実習 解剖学実習 機能解剖学演習		
兼任	教授	斎藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	斎藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	斎藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	斎藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		
兼任	教授	国際医学概論		兼任	教授	国際医学概論		兼任	教授	国際医学概論		兼任	教授	国際医学概論		
兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)		兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)		兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)		兼任	教授	羽田 道信 <平成31年4月> 修士(人間科学)		
兼任	教授	救急医学※ スポーツ・健康科学		兼任	教授	救急医学※ スポーツ・健康科学		兼任	教授	救急医学※ スポーツ・健康科学		兼任	教授	救急医学※ スポーツ・健康科学		
兼任	教授	久保 明達 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(理学)						兼任	教授			兼任	教授			
		数学						兼任	教授			兼任	教授			
兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小野木 啓子 <令和2年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	神経内科学1 神経内科学2 義肢学 老年学		兼任	教授	神経内科学1 神経内科学2 義肢学 老年学		兼任	教授	神経内科学1 神経内科学2 義肢学 老年学 一般臨床医学※		兼任	教授	神経内科学1 神経内科学2 義肢学 老年学 一般臨床医学※		
兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	青柳 陽一郎 <令和2年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	リハビリテーション評価概論 ※		兼任	教授	リハビリテーション評価概論 ※		兼任	教授	リハビリテーション評価概論 ※		兼任	教授	リハビリテーション評価概論 ※		
兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	伊藤 彰博 <令和2年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	一般臨床医学※		兼任	教授	一般臨床医学※		兼任	教授	一般臨床医学※		兼任	教授	一般臨床医学※		
兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大高 洋平 <令和2年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	スポーツ医学		兼任	教授	スポーツ医学		兼任	教授	スポーツ医学		兼任	教授	スポーツ医学 リハビリテーション医学概論 一般臨床医学		
兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	岡崎 英人 <令和2年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		兼任	教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		兼任	教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		兼任	教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		
兼任	教授	加賀谷 齊 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	加賀谷 齊 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	加賀谷 齊 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	加賀谷 齊 <平成31年4月> 博士(医学)		
兼任	教授	リハビリテーション医学概論 運動学3		兼任	教授	リハビリテーション医学概論 運動学3		兼任	教授	リハビリテーション医学概論 運動学3※		兼任	教授	リハビリテーション医学概論 運動学3※		

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	園田 茂 <令和2年4月> 博士(医学)	
		運動学2※				運動学2※				運動学2※				運動学2※	
兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	安倍 雅人 <平成31年4月> 医学博士	
		病理学				病理学				病理学				病理学	
兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)	
		公衆衛生学				公衆衛生学				公衆衛生学※				公衆衛生学※	
兼任	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法学)		兼任	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法学)		兼任	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法学)		兼任	教授	鈴木 めぐみ <平成31年4月> 博士(リハビリテーション療法学)	
		ボルトガル語 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究				ボルトガル語 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究				ボルトガル語 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習				ボルトガル語 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 運動学実習 作業療法概論	
				兼任	教授	稻本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)		兼任	教授	稻本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)		兼任	教授	稻本 陽子 <平成31年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	
						言語機能学 言語疾患学 言語病理学				言語機能学※ 言語疾患学※ 言語病理学※ 国際医学概論※				言語機能学※ 言語疾患学※ 言語病理学※ 国際医学概論※	
				兼任	教授	太田 嘉久夫 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	太田 嘉久夫 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	太田 嘉久夫 <平成31年4月> 博士(医学)	
						神経内科学1 神経内科学2				神経内科学1 神経内科学2				神経内科学1 神経内科学2	
兼任	教授	柴田 齊子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	柴田 齊子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	柴田 齊子 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	柴田 齊子 <令和2年4月> 博士(医学)	
		内科学※ リハビリテーション評価概論 ※				内科学※ リハビリテーション評価概論 ※				内科学※ リハビリテーション評価概論 ※				内科学※ リハビリテーション評価概論 ※	
										桂 長門 <令和2年4月> 博士(医学)				向野 雅章 <令和2年4月> 博士(医学)	
										一般臨床医学※				運動学3※	
										向野 雅章 <令和2年4月> 博士(医学)				向野 雅章 <令和2年4月> 博士(医学)	
										運動学3※				運動学3※	
										川井 審 <令和2年4月> 博士(医学)				川井 審 <令和2年4月> 博士(医学)	
										国際医学概論※				国際医学概論※	
										井平 勝 <令和2年4月> 博士(医学)				井平 勝 <令和2年4月> 博士(医学)	
										国際医学概論※				国際医学概論※	

専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	日比谷 健 <令和2年4月> 博士(医学)
		国際医学概論※
兼任	教授	中井 淳 <令和2年4月> 博士(医学)
		国際医学概論※
兼任	教授 非常勤講師	金平 薫 <令和2年4月> 博士(工学)
		国際医学概論※
兼任	教授	高橋 和男 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	矢上 晴子 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	鈴木 敏嗣 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	劍持 敏 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	大野 良治 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	岩田 充永 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	武地 一 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	河田 健司 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学
兼任	教授	福部 一郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		一般臨床医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼担	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)		兼担	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)		兼担	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)		兼担	准教授	武田 湖太郎 <平成31年4月> 博士(保健医療学) 修士(工学)	
		リハビリテーション工学 医用情報処理学		兼担	准教授	リハビリテーション工学 医用情報処理学		兼担	准教授	リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※ コンピュータープログラミング		兼担	准教授	リハビリテーション工学※ 医用情報処理学※ 基礎情報処理学※ コンピュータープログラミング	
兼担	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)		兼担	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)		兼担	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)		兼担	准教授	星野 弘喜 <平成31年4月> 博士(理学)	
		統計学		兼担	准教授	統計学 数学		兼担	准教授	統計学 数学		兼担	准教授	統計学 数学	
兼担	准教授	齋藤 竹生 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	齋藤 竹生 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	齋藤 竹生 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	齋藤 竹生 <令和2年4月> 博士(医学)	
		精神医学1※		兼担	准教授	精神医学1※		兼担	准教授	精神医学1※		兼担	准教授	精神医学※	
兼担	准教授	趙 岳人 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	趙 岳人 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	平野 哲 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	平野 哲 <令和2年4月> 博士(医学)	
		精神医学2		兼担	准教授	精神医学2		兼担	准教授	救急医学※ 運動学3※		兼担	准教授	救急医学※ 運動学3※	
兼担	准教授	平野 哲 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	平野 哲 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	前田 寛文 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	前田 寛文 <令和2年4月> 博士(医学)	
		救急医学※		兼担	准教授	救急医学※		兼担	准教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		兼担	准教授	整形外科学1※ 整形外科学2※	
兼担	准教授	松永 健史 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	松永 健史 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)	
		精神医学1※		兼担	准教授	精神医学1※		兼担	准教授	一般臨床医学※		兼担	准教授	一般臨床医学※	
兼担	准教授	前田 寛文 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	前田 寛文 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	大原 寛之 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	大原 寛之 <令和2年4月> 博士(医学)	
		整形外科学1※		兼担	准教授	整形外科学1※		兼担	准教授	整形外科学1※ 整形外科学2※		兼担	准教授	整形外科学1※ 整形外科学2※	
兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	村井 美代 <令和2年4月> 博士(医学)	
		一般臨床医学※		兼担	准教授	一般臨床医学※		兼担	准教授	一般臨床医学※		兼担	准教授	一般臨床医学※	
兼担	准教授	大原 寛之 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	大原 寛之 <令和2年4月> 博士(医学)		兼担	准教授	一般臨床医学※					
		一般臨床医学※		兼担	准教授	一般臨床医学※									

専任・ 兼任・ 准教授 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 准教授 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 准教授 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 准教授 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任 准教授		梅沢 栄三 <平成31年4月> 博士(理学)		兼任 准教授		梅沢 栄三 <平成31年4月> 博士(理学)		兼任 准教授		梅沢 栄三 <平成31年4月> 博士(理学)		兼任 准教授		梅沢 栄三 <平成31年4月> 博士(理学)	
		物理学				物理学				物理学				物理学	
兼任 准教授		堀内(後藤) ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)		兼任 准教授		堀内(後藤) ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)		兼任 准教授		堀内(後藤) ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)		兼任 准教授		堀内(後藤) ちとせ <平成31年4月> 修士(文学)	
		英語2※				英語2※	英語1※			英語2※	英語1※			英語2※	英語1※
兼任 准教授		服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics		兼任 准教授		服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics		兼任 准教授		服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics		兼任 准教授		服部 しのぶ <平成31年4月> M.A in Applied Linguistics	
		英語1				英語1				英語1※				英語1※	
										松下 文雄 <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)				松下 文雄 <平成31年4月> 博士(農芸化学) 修士(農学)	
										生物学				生物学	
										酒井 一由 <令和2年4月> 博士(医学)				酒井 一由 <令和2年4月> 博士(医学)	
										解剖学実習 国際医学概論※				解剖学実習 国際医学概論※	
										川崎 俊 <令和2年4月> 博士(医学)				川崎 俊 <令和2年4月> 博士(医学)	
										一般臨床医学※				一般臨床医学※	
										奥村 武則 <令和2年4月> 博士(医学)				奥村 武則 <令和2年4月> 博士(医学)	
										精神医学2※				精神医学2※	
										柳田 仁子 <令和2年4月> 博士(医学)				柳田 仁子 <令和2年4月> 博士(医学)	
										小児科学※				小児科学※	
										藤野 正之 <令和2年4月> 博士(医学)				藤野 正之 <令和2年4月> 博士(医学)	
										小児科学※				小児科学※	
										河村 吉紀 <令和2年4月> 博士(医学)				河村 吉紀 <令和2年4月> 博士(医学)	
										小児科学※				小児科学※	
										中島 菜子 <令和2年4月> 博士(医学)				中島 菜子 <令和2年4月> 博士(医学)	
										小児科学※				小児科学※	
										齋藤 和由 <令和2年4月> 博士(医学)				齋藤 和由 <令和2年4月> 博士(医学)	
										小児科学※				小児科学※	

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名		
兼任	杉山 智久 <平成31年4月> 修士(学術)	担当授業科目名	兼任	杉山 智久 <平成31年4月> 修士(学術)	担当授業科目名	兼任	レクリエーションセラピー 解剖学2※ 解剖学実習 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	兼任	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)	担当授業科目名	兼任	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)	兼任	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)	兼任	山田 将之 <平成31年4月> 博士(医療科学) 修士(医療・福祉マネジメント学)
兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	担当授業科目名	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	担当授業科目名	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 レクリエーション・セラピー ※	担当授業科目名	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 レクリエーション・セラピー ※	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 レクリエーション・セラピー ※	兼任	講師 客観的臨床能力演習1 客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3 基礎臨床見学実習 初期体験実習 臨床実習 応用臨地実習 臨床研究 レクリエーション・セラピー ※
兼任	講師 整形外科学2※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学2※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学2※ リハビリテーション評価概論 ※	兼任	講師 森 志乃 <令和2年4月> 博士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 森 志乃 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 森 志乃 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 森 志乃 <令和2年4月> 博士(医学)
兼任	講師 田辺 幸子 <平成31年4月> 修士(看護学) 修士(公衆衛生学)	担当授業科目名	兼任	講師 田辺 幸子 <平成31年4月> 修士(看護学) 修士(公衆衛生学)	担当授業科目名	兼任	講師 異文化看護概論	兼任	講師 赤堀 遼子 <令和2年4月> 博士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 赤堀 遼子 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 赤堀 遼子 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 赤堀 遼子 <令和2年4月> 博士(医学)
兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	兼任	講師 荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 荒川 千明 <令和2年4月> 博士(医学)
兼任	講師 精神医学1※	担当授業科目名	兼任	講師 精神医学1※	担当授業科目名	兼任	講師 精神医学1※	兼任	講師 小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 小川 真央 <令和2年4月> 学士(医学)
兼任	講師 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 内科学※	兼任	講師 角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師 角田 哲也 <令和2年4月> 博士(医学)
兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	担当授業科目名	兼任	講師 整形外科学1※ リハビリテーション評価概論 ※ 内科学※	兼任	講師 松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 松本 祐嗣 <令和2年4月> 学士(医学)
兼任	講師 小児科学※	担当授業科目名	兼任	講師 小児科学※	担当授業科目名	兼任	講師 小児科学※	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)
兼任	講師 小児科学※	担当授業科目名	兼任	講師 小児科学※	担当授業科目名	兼任	講師 小児科学※	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	担当授業科目名	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)	兼任	講師 眞鍋 正彦 <令和2年4月> 学士(医学)

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名													
兼任	講師	三浦 浩樹 <令和2年4月> 学士（医学）		兼任	講師	三浦 浩樹 <令和2年4月> 学士（医学）		兼任	講師	三宅 未紗 <令和2年4月> 学士（医学）		兼任	講師	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士（健康心理学）	
		小児科学※				小児科学※				小児科学※				臨床心理学	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	山下 還敬 <令和2年4月> 博士（医学）	
														一般臨床医学※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	木曾 昭史 <令和2年4月> 博士（医学）		兼任	講師	渡邊 克章 <令和2年4月> 博士（医学）	
										内科学※				内科学※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	竹尾 崇美 <令和2年4月> 博士（医学）		兼任	講師	谷口 實 <令和2年4月> 博士（医学）	
										整形外科学2※				精神医学1※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	小野 義明 <令和2年4月> 博士（医学）				佐久間 健二 <令和2年4月> 博士（医学）	
										精神医学1※				精神医学1※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	松川 畏平 <令和2年4月> 博士（医学）				松川 畏平 <令和2年4月> 博士（医学）	
										小児科学※				小児科学※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	千手 佑樹 <令和2年4月> 学士（医学）				千手 佑樹 <令和2年4月> 学士（医学）	
										リハビリテーション評価概論 ※				リハビリテーション評価概論 ※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	藤垣 英嗣 <令和2年4月> 博士（医学）				藤垣 英嗣 <令和2年4月> 博士（医学）	
										国際医学概論※				国際医学概論※	

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	講師	佐藤 元紀 <平成31年4月> 学士(文化創造)		兼任	講師	佐藤 元紀 <平成31年4月> 学士(文化創造)		兼任	講師	佐藤 元紀 <平成31年4月> 学士(文化創造)		兼任	講師	佐藤 元紀 <平成31年4月> 学士(文化創造)	
		作業療法概論				作業療法概論				作業療法概論※				作業療法概論※	
兼任	講師	長谷川 明美 <平成31年4月> 修士(学術)		兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師		
		心理学													
兼任	講師	三谷 龍彦 <平成31年4月> 博士(文学)		兼任	講師	三谷 龍彦 <平成31年4月> 博士(文学)		兼任	講師	三谷 龍彦 <平成31年4月> 博士(文学)		兼任	講師	三谷 龍彦 <平成31年4月> 博士(文学)	
		生命倫理学				生命倫理学				生命倫理学				生命倫理学	
兼任	講師	朝岡 昌史 <平成31年4月> 学士(法学)		兼任	講師	朝岡 昌史 <平成31年4月> 学士(法学)		兼任	講師	朝岡 昌史 <平成31年4月> 学士(法学)		兼任	講師	朝岡 昌史 <平成31年4月> 学士(法学)	
		社会福祉学				社会福祉学				社会福祉学※				社会福祉学※	
兼任	講師	和田 陽介 <令和3年4月> 修士(生体情報学)		兼任	講師	和田 陽介 <令和3年4月> 修士(生体情報学)		兼任	講師	和田 陽介 <令和3年4月> 修士(生体情報学)		兼任	講師	和田 陽介 <令和3年4月> 修士(生体情報学)	
		客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3				客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3				客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3				客観的臨床能力演習2 客観的臨床能力演習3	
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)		兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)		兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)		兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)	
		文化人類学				文化人類学				文化人類学				文化人類学	
兼任	講師			兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> BA History (新闢)		兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> BA History (新闢)		兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> BA History (新闢)	
						英語2※				英語2※				英語2※	
兼任	講師			兼任	講師	中井 大介 <平成31年4月> 博士(教育学)		兼任	講師	中井 大介 <平成31年4月> 博士(教育学)		兼任	講師	中井 大介 <平成31年4月> 博士(教育学)	
						教育学				教育学				教育学	
兼任	講師			兼任	講師	青柳 真紀子 <平成31年4月> 修士(学術)		兼任	講師	青柳 真紀子 <平成31年4月> 修士(学術)		兼任	講師	青柳 真紀子 <平成31年4月> 修士(学術)	
						心理学				心理学				心理学	
兼任	講師			兼任	講師	宮坂 ヘジーナ <平成31年4月> 修士		兼任	講師	宮坂 ヘジーナ <平成31年4月> 修士		兼任	講師	宮坂 ヘジーナ <平成31年4月> 修士	
						ポルトガル語				ポルトガル語				ポルトガル語	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	井土 康仁 <令和2年4月> 修士(文学)		兼任	講師	井土 康仁 <令和2年4月> 修士(文学)	
										英語1※				英語1※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	山上 潤一 <令和2年4月> 修士(保健学)		兼任	講師	山上 潤一 <令和2年4月> 修士(保健学)	
										医療経営学※				医療経営学※	
兼任	講師			兼任	講師			兼任	講師	伊藤 秀樹 <令和2年4月>		兼任	講師	伊藤 秀樹 <令和2年4月>	
										社会福祉学※				社会福祉学※	

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

事務・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	守川 恵助 <令和2年4月> 修士(健康科学)
		理学療法治療学7-スポーツ※

事務・ 経理・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	福澤 壽亮 <令和3年4月>
		地域リハビリテーション学 (理)
兼任	助教	守川 恵助 <令和2年4月> 修士(健常科学)
		理学療法検査学7-スポーツ※ 理学療法検査学6-スポーツ※

事住・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年末時点の情報として記入してください。)
○認可申請書は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
○「認可時又は届出時に」では、設置認可時又は届出時の教員全員にて（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**「認可時又は届出時から現在」となっている廃校は本学の赤字としてください。**
○各欄の作成方法は、「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
○年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
○専任（専門大学等は、専任、実習、研究）、**兼任、兼任の順に記入してください。**
○不要な年齢（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・久保明達教授の退職により、「数学」を兼担教員の星野弘喜准教授に変更した(令和4年度より専任)。
- ・専門性の深化を図るため、「スポーツ・健康科学」の担当教員を羽田道信兼担教員から、羽田道信兼担教員、桂華麻希助教に変更。
- ・長谷川明美兼任講師の退職により「心理学」を兼任教員の青柳真紀子講師に変更した。
- ・石川道夫兼任講師の退職により「教育学」を兼任教員の中井大介講師に変更した。
- ・Christopher Richard Donaldson 兼任講師の退職により「英語2」をLaurence Miles Hislop講師に変更した。
- ・専門性の深化を図るため、「ポルトガル語」を鈴木めぐみ教授から、宮坂へジーナ講師に変更し、兼任として追加。
- ・提出時の記載誤りにより【認可時又は届出時】における専任教員米本倉基教授の年齢を59から56歳に変更。
- ・専門性の深化を図るため、「神経内科学1」「神経内科学2」を小野木啓子教授から、太田喜久夫教授に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「解剖学実習」の教員配置を山田晃司教授、西井一宏准教授、杉山智久講師、藤村健太助手から山田晃司教授、西井一宏准教授、杉山智久講師、藤村健太助教に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「生理学実習」の教員配置を山田晃司教授、西井一宏准教授、藤村健太助手、太田皓文助手から山田晃司教授、西井一宏准教授、藤村健太助教、太田皓文助教に変更。
- ・担当教員の職位変更、および留学による不在のため、「運動学実習」の教員配置を金田嘉清教授、横田元実講師、小山総市朗助教、土山和大助手、太田皓文助手、渡哲郎助手、藤村健太助手から金田嘉清教授、横田元実講師、小山総市朗助教、土山和大助手、太田皓文助手、渡哲郎助手に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「コンピュータープログラミング」の教員配置を田辺茂雄准教授、小山総市朗助教に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習1」の教員配置は金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗助教、横田元実講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「客観的臨床能力演習2」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗助教、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「表面解剖学（作）」の教員配置を藤村健太助手から藤村健太助教に変更。
- ・職位の変更により、「検査・測定論1（理）」担当の櫻井宏明教授と小山総市朗助教から、櫻井宏明教授と小山総市朗講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「運動療法学」の教員配置を小山総市朗助教から、小山総市朗講師に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「運動療法学実習」の教員配置を谷川広樹講師、土山和大助手から谷川広樹講師に変更。
- ・担当教員の留学による不在により、「物理療法学実習」の教員配置を鈴木由佳理講師、土山和大助手から鈴木由佳理講師に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「日常生活活動学実習（作）」の教員配置を阿部祐子助教、藤村健太助手から阿部祐子助教、藤村健太助教に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「基礎臨床見学実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「初期体験実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「臨床実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・担当教員の職位変更により、「応用臨地実習」の教員配置を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、松田文浩講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、加賀順子講師、渡辺章由講師、杉山智久講師、山田将之講師へ変更。
- ・申請時記載誤りの修正により、「医療経営学」の教員配置で坂田裕介助教、村田幸則助教を兼担教員へ変更。
- ・提出時の記載漏れにより、福本陽子教授を兼担として追加（5(2)-①理学）。
- ・提出時の記載漏れにより、金田嘉清教授を兼担として追加（5(2)-①作業）。
- ・提出時の記載漏れにより、櫻井宏明教授を兼担として追加（5(2)-①作業）。
- ・提出時の記載漏れにより、上原信太郎講師を兼担として追加（5(2)-①作業）。

【令和2年度】

- ・専任教員として、高橋宏講師、Zaid Bin Abdullah講師、土山和大助教、会津直樹助教、北村新助教、吉田太樹助教、粟飯原けい子助教を追加。
- ・兼科教員として、桂長門教授、向野雅彦教授、川井薫教授、井平勝教授、日比谷准教授、中井滋教授、金平蓮教授、加藤好光准教授、酒井一理准教授、大原寛之准教授、川崎俊准教授、奥村武則准教授、帽田仁子准教授、藤野正之准教授、河村吉紀准教授、中島葉子准教授、齋藤和由准教授、大橋篤准教授、林直樹准教授、村井はるか准教授、朝居朋子准教授、山下通教講師、木曾昭史講師、渡邊克章講師、竹尾淳美講師、谷口賢講師、小野義明講師、佐久間健二講師、松川昇平講師、松川昇平講師、千手佑樹講師、藤垣英樹講師、Le Nguyen講師、牧野聰助教、佐々木聰助教、竹内正樹助教、藤井明里助教、伊藤健太助教、藤井亮輔助教を追加。
- ・兼任教員として、滝川陸教授、Zaihha Omar教授、前島伸一郎教授、三輪弘美教授、富田昌夫教授、井土康仁講師、山上潤一講師、伊藤秀樹講師、粥川知子講師、中野有子講師、大河内由紀講師、木曾昭史講師、野々山紗矢果講師、本谷郁雄講師、尾形宗士郎講師、武田和也助教、守川恵助教を追加。
- ・小野木啓子教授が兼任教員から専任教員へ配置変更となり、「筋形学」と「老年学」を担当。
- ・伊藤桜子講師が兼任教員から専任教員へ配置変更となり、講師から准教授へ職位変更。
- ・坂田裕介助教が兼任教員から兼任教員へ配置変更。
- ・尾閑恩講師が講師から准教授へ職位変更。
- ・奥村庄次講師が講師から教授へ職位変更。
- ・中井大介講師が講師から准教授へ職位変更。
- ・杉山智久講師の退職により、専任教員から兼任教員に配置変更となり、「レクリエーション・セラピー」は山田将之講師、三輪弘美教授、「解剖学2」は山田晃司教授、会津直樹助教、「解剖学実習」は山田晃司教授、西井一宏准教授、会津直樹助教、兼任教員の酒井一由准教授、加藤好光准教授、「作業学2-木工・陶芸」は鈴木孝治教授へ変更。
- ・加賀順子講師の退職により、専任教員から兼任教員に配置変更となり、「日常生活活動学実習(理)」は鈴木由佳理講師と兼任教員の石田直也講師、「地域リハビリテーション学実習(理)」は鈴木由佳理講師へ変更。
- ・保木本のぞみ助教の産後休暇のため、「作業療法治療学7・内部障害」は鈴木孝治教授、「検査測定論2(作)」は藤村健太助教、検査測定論実習2(作)」は北村新助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「運動療法医学」の担当教員を松田文浩講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「機能解剖学実習」の担当教員を西井一宏准教授に山田晃司教授と会津直樹助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「英語1」の担当教員を服部しのぶ准教授に堀内(後藤) ちとせ准教授、滝川睦教授、井土康仁講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「英語2」の担当教員を堀内(後藤) ちとせ准教授とLaurence Miles Hislop講師に清野渕講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医学英語」の担当教員を清野渕講師からZaid Bin Abdullah講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「生理解剖学」の担当教員を山田晃司教授と西井一宏准教授に会津直樹を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学3」の担当教員を金田嘉清教授と野野原洋教授と平野哲准教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動学実習」の担当教員を金田嘉清教授、松田文浩講師、横田元実講師、小山総市朗講師、上原信太郎講師、藤村健太助教、北村新助教、吉田太樹助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「一般臨床医学」の担当教員を伊藤彰博教授、尾閑恩准教授、大原寛之准教授、川崎俊准教授、山下通教講師、Zaihha Omar教授へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「内科学」の担当教員を山田晃司教授と尾閑恩准教授、柴田齊子准教授、角田哲也講師、赤堀遼子講師から尾閑恩准教授、柴田齊子准教授、小川真央講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「整形外科学1」の担当教員を尾閑恩准教授、岡崎英人教授、前田寛文准教授、赤堀遼子講師、小川真央講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「整形外科学2」の担当教員を尾閑恩准教授、岡崎英人教授、森志乃講師に前田寛文准教授、竹尾淳美講師、Zaihha Omar教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学1」の担当教員を齋藤竹生准教授、松永慎史准教授、荒川千明講師から齋藤竹生准教授、小野義明講師、佐久間健二講師、谷口賢講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「精神医学2」の担当教員を趙岳人准教授から奥村武則准教授、竹内正樹助教、藤田明里助教、伊藤健太助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「小児科学」の担当教員を松本祐嗣講師、眞鍋正彌講師、三浦浩樹講師、三宅未紗講師から帽田仁子准教授、藤野正之准教授、河村吉紀准教授、中島葉子准教授、齋藤和由准教授、松川昇平講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「公衆衛生学」の担当教員を鈴木康司教授に粟井亮輔助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「救急医学」の担当教員を羽田道信教授、平野哲准教授に前島伸一郎教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「基礎情報処理学」の担当教員を田辺茂雄准教授に武田湖太郎准教授、小山総市朗講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医用情報処理学」の担当教員を田辺茂雄准教授、小山総市朗講師に上原信太郎講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「コンピュータプログラミング」の担当教員を田辺茂雄准教授、小山総市朗講師に上原信太郎講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「医療経営学」の担当教員を米本倉基教授に山上潤一講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「言語機能学」の担当教員を稻本陽子教授に粟飯原けい子助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「言語病理学」の担当教員を福本陽子教授に粟飯原けい子助教、Zaid Bin Abdullah講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「リハビリテーション評価概論」の担当教員を青柳陽一郎教授、赤堀遼子講師、角田哲也講師から青柳陽一郎教授、尾閑恩准教授、赤堀遼子講師、森志乃講師、千手佑樹講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「社会福祉学」の担当教員を加賀順子講師、伊藤保子助教、朝岡昌史講師から加賀順子講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「客観的臨床能力演習1」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師、粥川知子講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「客観的臨床能力演習2」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、荒川千明講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「臨床研究」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「臨床研究」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法研究概論」の担当教員を高橋宏講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学(理)」の担当教員を大塚圭准教授に高橋宏講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学」の担当教員を鈴木由佳理講師、伊藤直樹講師から伊藤直樹講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学(作)」の担当教員を渡辺章由講師から山田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「表面解剖学(理)」の担当教員を櫻井宏明教授、小山総市朗講師から櫻井宏明教授、本谷郁雄講師、武田和也助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論1(理)」の担当教員を櫻井宏明教授、小山総市朗講師から櫻井宏明教授、本谷郁雄講師、武田和也助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論1(作)」の担当教員を谷川広樹講師に山田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論2(理)」の担当教員を谷川広樹講師に山田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論2(作)」の担当教員を渡辺章由講師に前田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論3(理)」の担当教員を前田晃子助教に吉田太樹助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論3(作)」の担当教員を鈴木めぐみ教授に吉田太樹助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「検査・測定論実習」の担当教員を横田元実講師に奥村庄次教授を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「運動療法医学実習」の担当教員を土山和大助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学」の担当教員を寺西利生教授に土山和大助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学1-スポーツ」の担当教員を岡田謙講師に守川恵助教を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「理学療法治療学1-小児」の担当教員を鈴木由佳理講師、大河内由紀講師、中野有子講師を追加。
- ・専門性の深化を図るため、「物理療法医学実習」の担当教員を鈴木由佳理講師から上原信太郎講師、土山和大助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「日常生活活動学(作)」の担当教員を深谷直美講師から前田晃子助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「作業療法治療学3-中枢3」の担当教員を前田晃子助教から鈴木めぐみ教授、北村新助教へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「基礎臨床見学実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「初期体験実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・配置変更ならび教員の留学に伴い、「応用臨地実習」の担当教員を金田嘉清教授、寺西利生教授、櫻井宏明教授、鈴木孝治教授、鈴木めぐみ教授、田辺茂雄准教授、大塚圭准教授、鈴木由佳理講師、都築晃講師、谷川広樹講師、上原信太郎講師、小山総市朗講師、横田元実講師、渡辺章由講師、山田将之講師へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「国際医学概論」の担当教員を齋藤邦明教授から稻本陽子教授、大塚圭准教授、清野渕講師、Zaid Bin Abdullah講師、川井薰教授、井平勝教授、日比谷信教授、中井滋教授、金平蓮教授、大橋篤准教授、酒井一由准教授、林直樹准教授、村井はるか准教授、朝居朋子准教授、藤垣英樹講師、Le Nguyen講師、辻岡勝美准教授へ変更。
- ・専門性の深化を図るため、「異文化看護論」の担当教員を田辺幸子講師から朝居朋子准教授へ変更。
- ・記載誤りにより【認可時又は届出時】及び【令和元年度】における兼任教員の柴田齐子准教授を教授に変更。

【令和3年度】

- ・片山徵准教授が専任教員として追加となり、「地域リハビリテーション学」を担当。
- ・羽田和也助教が専任教員として追加となり、「検査・測定論1」、「検査・測定論実習1」を担当。
- ・兼任教員として、Laurence Miles Hislop講師、谷川佳代子講師、加藤健治講師を追加。
- ・渡哲郎講師が助手から助教へ職位変更となり、「検査・測定論1」、「検査・測定論実習1」、「日常生活活動学実習」を担当。
- ・井伊卓真助教が助手から助教へ職位変更となり、「理学療法治療学4-整形1」、「義肢・装具学実習」、「物理療法実習」、「歩行再建学」、「臨床研究」、「地域リハビリテーション学実習」を担当。
- ・羽田道信教授が兼任教員から兼任教員へ配置変更となり、「スポーツ・健康科学」の担当を外れる。
- ・鈴木孝治教授の退職により、「作業療法概論」は鈴木めぐみ教授へ変更。
- ・高橋宏講師が専任教員から兼任教員へ配置変更となった。
- ・金田嘉清教授が、新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学10-小児」の名称が変更となった「理学療法治療学9-小児」と担当。
- ・担当教員の配置変更のため、「理学療法治療学1-中枢1」を寺西利生教授から土山和大助教へ変更。
- ・大塚圭准教授が、新カリキュラムの導入により、「運動学習理論」と「歩行再建論」を担当。
- ・鈴木由佳理講師が、新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学10-小児」の名称が変更となった「理学療法治療学9-小児」と「地域理学療法」を担当。
- ・都築亮講師が、新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学9-内部障害」の名称が変更となった「理学療法治療学8-内部障害」、「理学療法治療学8-呼吸」の名称が変更となった「理学療法治療学7-呼吸」を担当。
- ・松田文浩講師が、新カリキュラムの導入により、「運動学習理論」と担当し、閉講となった「理学療法治療学6-徒手療法」の担当から外れ、専門性の深化を図るために、「臨床運動学」を担当、「理学療法治療学5-整形2」を鈴木由佳理講師から変更。
- ・谷川広樹講師が、新カリキュラムの導入により、「歩行再建論」を担当。
- ・上原信太朗講師が、新カリキュラムの導入により、「運動学習理論」を担当。
- ・小山総市朗講師が、新カリキュラムの導入により、「歩行再建論」を担当し、専門性の深化を図るために、「基礎情報処理学」、「物理療法実習」を担当。
- ・土山和大助教が、専門性の深化を図るために、「理学療法治療学1-中枢1」を寺西利生教授から変更となり、「検査・測定論実習2」を担当。
- ・担当教員の配置変更のため、「解剖学1」の担当から外れる。
- ・大高洋平教授が、専門性の進化を図るために、「リハビリテーション医学概論」、「一般臨床医学」を担当。
- ・担当教員の配置変更のため、「リハビリテーション医学概論」、「一般臨床医学」を担当。
- ・武田湖太郎准教授が、専門性の深化を図るために、「精神医学1」、「精神医学2」の名称「精神医学」を変更となり、齋藤竹生准教授、奥村武則准教授、竹内正樹助教、と担当。
- ・兼任教員として、伊藤彰博教授、高橋和男教授、矢上晶子教授、鈴木敦詞教授、剣持敬教授、大野良治教授、岩田充永教授、武地一教授、河田健司教授、磯部一郎教授、臼井正信教授、近藤一直教授、須田康一教授、都築則正講師が追加となり、「一般臨床医学」を担当。
- ・武田湖太郎准教授が、専門性の深化を図るために、「コンピュータプログラミング」を担当。
- ・新カリキュラムの導入により、「精神医学1」、「精神医学2」の名称「精神医学」を変更となり、齋藤竹生准教授、奥村武則准教授、竹内正樹助教、と担当。
- ・兼任教員として、大河内智准教授、大矢一登准教授、二宮光平講師、山本真太郎講師、森下寛史講師、石原和侍助教、磯野祐希助教を追加し、「精神医学」を担当。
- ・村井はるか准教授が、担当教員の配置変更のため、「英語1」を担当。
- ・兼任教員として、石川浩章准教授が追加となり、「臨床栄養学」を担当。
- ・兼任教員として、野野志保准教授、和田義敬講師、細川浩講師が追加となり、「整形外科学1」を担当。
- ・兼任教員として、當山峰道准教授が追加となり、「スポーツ医学」を担当。
- ・中島ともみ講師が追加となり、「作業療法概論」、「客観的臨床能力演習1」、「客観的臨床能力演習2」、「客観的臨床能力演習3」を担当。
- ・兼任教員として、名倉宏高講師が追加となり、「内科学」、「リハビリテーション評価概論」を担当。
- ・兼任教員として、松原正典講師、舟橋裕佑講師が追加となり、「内科学」、「整形外科学2」、「リハビリテーション評価概論」を担当。
- ・兼任教員として、稻垣良輔講師が追加となり、「整形外科学2」、「リハビリテーション評価概論」を担当。
- ・兼任教員として、竹中楽講師、赤塚功講師が追加となり、「内科学」を担当。
- ・兼任教員として、桂華麻希教授が追加となり、「社会福祉学」、「職業活動開発学」を担当。
- ・兼任教員として、毛利将平助教が追加となり、「運動学実習」を担当。
- ・兼任教員として、鈴村彰太助教が追加となり、「レクリエーション・セラピー」、「運動学実習」を担当。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学7-スポーツ」の名称「理学療法治療学6-スポーツ」と変更となり、岡田誠講師、守川恵助教が担当。
- ・兼任教員として、稻垣圭亮講師が追加となり、「地域リハビリテーション学」を担当。
- ・和田阳介講師、三木誠講師、粥川知子講師、野々山紗夫果講師、尾形宗士郎講師が兼任教員から外れる。
- ・兼任教員として、Laurence Miles Hislop講師が追加となり、「英語2」を担当。
- ・新カリキュラムの導入により、「理学療法治療学10-小児」の名称「理学療法治療学9-小児」を変更となり、中野有子講師、大河内由紀講師が担当。
- ・担当教員の配置変更のため、本谷郁雄講師が「客観的能力演習2」の担当から外れる。
- ・兼任教員として、谷川佳代子講師が追加となり、「コミュニケーション論」を担当。
- ・兼任教員として、加藤健治講師が追加となり、「コンピュータプログラミング」を担当。

【令和4年度】

- (注)
 - ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
15 名	8 名

※(2)-①は学科の必要専任教員数を記入。②以降は理学療法専攻としての値を記入。

(注) 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4 (4)	4 (4)	10 (10)	1 (1)	19 (19)	2 (2)	4	6	9	5	24	0
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
4 [0]	6 [2]	9 [△1]	5 [4]	24 [5]	0 [△2]	4 [0]	6 [2]	9 [△1]	5 [4]	24 [5]	0 [△2]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
63 歳	1 名	0 名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{24}{19} = \boxed{126.31} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{24} = \boxed{4.16} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C')}}{\text{設置時の計画（A')}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

(注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由						
合計(D)				後任補充状況の集計(E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目			
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目			
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目			
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目			

- (注) • 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 • 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 • 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 • また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 • 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 • 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
1	講師	加賀順子	R2.3	必修	日常生活活動学実習	①②	R2.3.31付けで私事都合のため辞任(2)					
				必修	地域リハビリテーション学	①②						
				必修	地域リハビリテーション学実習	①						
2	講師	高橋宏	R3.4	選択	理学療法研究概論	①②	R3.4.1付けで非常勤として再雇用のため(3)					
合計(F)				後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
2	人			必修	5	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
				選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
				自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	7	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) • 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 • 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 • また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 • 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 • 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -②の合計

合計(D)+(F)		後任補充状況の集計(E)+(G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)	必修	選択	自由	計	必修	選択
2	人	必修	5	科目	必修	3	科目	必修	2	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	4	科目	計	3	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{19} = 10.52\%$$

- (注) • 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) • (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択		
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由		
		計	0	科目	計	0	科目	計		

- (注) • 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 • 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。

• また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：退職及び移動する教員の科目は、延べ4科目である。2科目は他の専任教員が担当し、他の2科目においても辞任する教員が兼任・兼任教員として担当を継続するため教育の質は十分担保できる。 学生への周知方法：シラバスに反映させ、周知させた。

- (注) • 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届出時 (平成30年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和3年)	該当なし		該当なし		該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【学部の英語名称変更】</p> <p>保健衛生学部 (School of Healthcare)</p>	<p>保健衛生学部 (School of Health Sciences) 変更年月日：平成31年4月1日</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会</p> <p>本委員会は、藤田医科大学が学長のリーダーシップの下、教育・研究・社会貢献等の機能を最大限に高めることを目的として設置する。また、内部質保証の推進に責任を負う組織として、教育課程の編成に関する全学的な方針を策定し、自己点検・評価の結果等に基づいて教育プログラムの成果を検証し、改革サイクルを確立する役割を担う。</p> <p>(2) 藤田医科大学FD・SD委員会</p> <p>本委員会は、各学部・各研究科における授業の内容及び方法の改善を図るために組織的な研修および研究を行うこと、及び本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることを目的とする。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会</p> <p>(構成)</p> <p>学長、副学長、学長補佐、各学部長、各教育病院長、研究支援推進本部長、総合医科学研究所長、各学部教務委員長、大学事務局長、研究支援推進本部事務部長及び他学長が必要と認める教職員</p> <p>(開催状況)</p> <p>原則として毎月1回開催する。ただし、必要があるときは適時開催する。</p> <p>(2) 藤田医科大学FD・SD委員会</p> <p>(構成)</p> <p>学長補佐(教育担当)、各学部、各研究科より選出された教員、アセンブリ教育センター、研究支援推進本部より選出された教員又は職員、大学病院、法人本部、大学事務局より選出された職員</p> <p>(開催状況)</p> <p>原則として毎月1回開催する。ただし、必要に応じて電子メール等による持回りにより開催する。</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none">・本委員会の協議事項は、学長に報告し、全学教学運営委員会の承認を得なければならない。・本委員会は、必要に応じて小委員会を設置し、協議及び活動させることができる。
--

c 委員会の審議事項等

(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会

・教育に関する事項

ア 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受け入れの方針の一体的な策定に関する事項

イ 教育課程の編成に関する事項

ウ 教育内容及び方法の改善に関する事項

エ 学修成果の評価に関する事項

・内部質保証に関する事項 等

(2) 藤田医科大学FD・SD委員会

ア FD又はSDの実施方針策定に関すること

イ FD又はSDの年間実施計画立案に関すること

ウ FD又はSDの企画及び実施、若しくは実施の把握に関すること

エ FD又はSDの成果及び報告に関すること

オ FD又はSDの参加者の把握に関すること

カ FD又はSDに関する情報収集と啓発活動に関すること

キ その他委員会が必要と認めた事項に関すること

② 実施状況

a 実施内容

委員会において、各部門で授業を担当する教員を対象として、教育の質的水準を高めるために毎年実施する以下に掲げるFDについて、実施計画立案及び支援を行っている。

(1) 学生による授業評価の分析結果に基づき、授業の改善を図るために学生代表者の参画を得て実施するFD

(2) アセスメント・ポリシーを踏まえて、学修成果の評価・検証の仕組み等の理解を深め、適切な成績評価の実施を促すために実施するFD

(3) 準備学修の具体的な内容や必要な時間、課題に対するフィードバックの方法等のシラバスに記載を求める事項に係る設定や提示方法について認識を高め、より教育効果を高めるために実施するFD

(4) 教育研究活動をサポートするTA（ティーチング・アシスタント）等の学生スタッフを参画させて、学生スタッフを参画させて、学生スタッフの資質の養成や向上を目的として実施するFD

(5) 学生の実践的語学力の習得を目的として実施する外国語での授業法に関するFD

(6) 他の国内の大学とのFD実施に係る協定の下に共同により、専門教育分野に係る教育力向上を目的として年間4回以上実施するFD

b 実施方法

(1) 外部講師を招聘し、講演会の実施

(2) 授業改善に関わる教員と学生間での意見交換会等の実施

(3) 教員とTA（ティーチング・アシスタント）による意見交換会等の実施

(4) 新型コロナウイルス感染症対策等のため、Microsoft Teamsを利用しての実施

(5) リアルタイムで受講できなかった者に対し、後日e-ラーニングにて実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度については、以下のFD・SDを開催した。（主なFD・SDの内容について、以下に記載）
リハビリテーション学科では、公務以外、FD研修会等の参加の義務化を徹底し、教員の教育活動としての資質向上に努めている。また、教員の参加状況については、リアルタイムで受講できなかった者は、後日e-ラーニングでの受講とし、全員参加を義務付けている。

- (1) 令和2年5月：アセスメント・プランを踏まえた成績評価について
- (2) 令和2年7月：授業評価アンケート結果の分析・検討内容に基づき、授業改善に向けて代表学生が参画
- (3) 令和2年8月：ICTを用いたe-ラーニングや講義方法のスキルアップ演習
- (4) 令和2年8月：高大接続教育を考える
- (5) 令和2年9月：教育サポートスタッフの資質養成のための研修
 - ティーチングアシスタント（TA）との協働による実習および演習の改善
 - コロナ渦における取り組み—
- (6) 令和2年12月：遠隔授業の併用と対面授業の改善を目的としたシラバス作成方法について
- (7) 令和2年12月：学生を理解し、指導していくために—方法と支援の在り方—

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 学生の能動的学修意欲を引き出すような学修法や教育法の開発及び推進を行う。
 - (2) 学生による授業評価及びその対応の内容を公開し、授業改善に資する。
 - (3) 第三者による自己点検・評価を受け、客観的な評価を吟味、活用し、教育内容、学生への支援体制及び教育環境などについて提案・改善する。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 授業の改善を図り、本学教育の質の一層の向上に資することを目的とし、毎年度、前期1回、後期1回の計2回、学生による授業評価アンケートを実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- 授業ごとの評価分析結果を教員及び学生へ学内掲示等で公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健衛生学部は、本学の建学の理念並びに学則第1条に定める目的を踏まえ、チーム医療を推進するうえで、各学科において人間の生命を尊重する倫理観と心豊かな幅広い人間性を培い、看護学、リハビリテーション学各分野の知識・技術の修得をもとに、課題探求能力を育成し、専門的素養のある人材としてそれぞれの分野で社会に貢献できる人材を育成する。

この教育理念に基づき保健衛生学部は教育目標を設定し、公表している。

(1) 学生の受入れについて

保健衛生学部及び看護学科、リハビリテーション学科のアドミッション・ポリシーに基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っている。

また、優れた資質をもつ学生を入学させるため、入学者選抜に関わる広報活動の充実を図っている。

⇒令和3年度入学試験（リハビリテーション学科理学療法専攻）

定員70名に対し、573名の志願者を集め、アドミッション・ポリシーに定める教育を受けるのに相応しい70名の入学者を確保した。

(2) 教育課程・学修成果について

教育課程の編成・実施方針に基づき、学位課程に相応しい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか？学生の学修を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか？成績評価、単位認定を適切に行っているのか？等についてP D C Aを回している。

⇒リハビリテーション学科理学療法専攻に教育課程の実施及び授業の実施等の運用事項に関するこを審議し、これに対処するため、学科長、学科教務委員会副委員長、授業担当専任教員、高度な実務能力を有する者として学科長が推薦した教員等で構成されたメンバーにより、カリキュラム委員会を設置、運用している。

⇒遠隔講義について

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、開始した遠隔講義について、教員、学生より、対面講義と遠隔講義比較によるメリット、デメリット、問題事象等の情報を収集し、課題共有を行った。改善策等の検討を行い、F D・S Dのテーマにする等、対応を図った。

(3) 教員の資質向上及び教員組織の改善・向上について

保健衛生学部ではF D研修会への参加が義務化されていることから、リハビリテーション学科では、公務以外必ず参加することを徹底し、教員の資質向上に努めている。また、各教員が教育・研究で専門とする学会等にも参加し、必要な教育や知識の修得、他大学の教員や研究者との情報・意見交換等を行い、教員の資質向上に努めている。

⇒令和2年度はF D・S Dを全7回実施した。

(4) 適切な根拠に基づく点検・評価について

リハビリテーション学科は、各教員の自己点検・評価を実施し、年次計画（目標）を立案・遂行している。

具体的には、年度初めに1年間の教育、研究、管理、社会貢献、運営等について目標を設定し、

目標に対しての達成度を学科長と点検・評価を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年11月（予定） 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

(3) 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 · 無]

« a で「有」の場合 »

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2～3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 · その他 ()]

« a で公表「無」の場合 »

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。